

催すに至りました。これは誠に欣幸に堪へない次第であります。回顧すれば昨年米労協総同盟が労働農民党を組織したる後新に支部磯雄氏等と社会部と政党問題に關して意見を異にするに至つた。これに對し総同盟は組合の統制を紊乱するやうと稱して我同志麻生久氏外十一名並に日本鏡夫組合を除名するに至つた。依つて我々は同じ見解を有する所の米東紡織労働組合、米東合同労働組合、兵庫縣聯合會、九州聯合會、諸組合と共に新に本同盟を組織したのであります。亦米約四ヶ月右に総同盟を左に評議會を控へて彼等、悪罵慢罵の下に、或は陰險惡辣なる壓迫と闘はつ、只組合の基礎、鞏固を圖り、血と涙とを以て今日まで支持し

て来たのであります。我同盟は追々無産大衆の信望を博するに至り組合の勢力増大し茲に日本の大會を開催することとなつたのであります。総同盟は資本家との妥協に日も足りず、その支狗となつて無産階級の眞実の要求も忘却し立派に反動團結と化し去つたのであります。又一方評議會は只單なる口説の勇者に過ぎずして其の実行に於ては頗る怯懦なることは世間周知の事実であります。我組合同盟は彼等左右両翼の奮動を正し、階級的正義を基調として資本家の牙城に勇敢に肉迫し無産階級解放のため最後迄奮闘したと思ふのであります。下略

右開會の辭に續き代議負歓迎。辭答辭あり議長及副